

登録コード	L2962600		開講年度	2026			
担当教員	KUEHNICKE BJOERN			副担当			
授業科目	ドイツ語コミュニケーション上級 I						
英文授業名	Advanced course of German Oral Communication I						
授業タイトル							
単位数	1	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	火曜・2 時限
講義室	人文 2 0 4 演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Lカリ, 2 0 2 1 Lカリ, 2 0 2 0 Lカリ						
	【2022年度以前カリ対象】他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー			⇔	ドイツ語圏の国や地域の多様な言語慣習を学ぶことで、洗練された言語運用能力を身につけることができる。		
	【2022年度以前カリ対象】グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力			⇔	ドイツ語圏の国や地域の文化を学び、理解した上で、自らの国や文化についてドイツ語で発信できるようになる。		
	2 0 2 6 Lカリ, 2 0 2 5 Lカリ, 2 0 2 4 Lカリ, 2 0 2 3 Lカリ						
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	ドイツ語圏の国や地域の文化を学び、理解した上で、自らの国や文化との違いや共通点を見出すことができるようになる。		
	【2023年度以降カリ対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			⇔	ドイツ語圏の国や地域の文化を学び、理解した上で、自らの国や文化についてドイツ語で発信できるようになる。		
授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	本授業では、主としてドイツ語の「聞く・話す」能力を習得することを目標とします。ドイツ語で聞き取った場面や文脈を理解し、適切な語彙や表現を使って、ドイツ語で対応できるように繰り返し練習をしていきます。						
授業計画	授業は、ドイツ語でおこないます。場面別に語彙や表現をしっかり学習した後、グループワークで実践的な練習をしていきます。場面別に小テストをおこない、習熟度を確認します。実践練習では、オンラインでドイツ語圏の話者と交流をおこなう予定です。授業は「ドイツ語コミュニケーション中級II」の続きとなります。 第1回 場面4（練習1） 第2回 場面4（練習2）・小テスト 第3回 場面4（実践） 第4回 場面5（練習1） 第5回 場面5（練習2）・小テスト 第6回 場面5（実践） 第7回 場面6（練習1） 第8回 場面6（練習2）・小テスト 第9回 場面6（実践） 第10回 場面7（練習1） 第11回 場面7（練習2）・小テスト 第12回 場面7（実践） 第13回 まとめ（応用練習1） 第14回 まとめ（応用練習2） 第15回 まとめ（応用練習3）・授業アンケート 第16回 期末試験						
成績評価の方法	小テスト50%、期末試験50%の比率で総合的に評価する。						
成績評価の基準	ドイツ語で説明される状況を把握でき、語彙や複雑な表現を使って発言することができれば水準にある。ドイツ語で説明される状況を理解し、教科書やメモをみながら、自らの考えをドイツ語で詳細に発言することができればかなり上にある。 ドイツ語で説明される状況を理解し、学習した語彙や多様で複雑な表現を使って、自然なドイツ語の会話をすることができれば卓越している。						
事前事後学習の内容	配布されたプリントを読み、新しく学習する語彙や表現を発音して練習しておくこと。 わからない語彙は、辞書を使って調べておくこと。 学習した語彙や表現を繰り返し発音し、復習すること。						
履修上の注意	グループワークには積極的に参加すること。 オンラインでドイツ語圏の話者と交流する機会を設けるため、柔軟に予定、時間を調整できるようにしておくこと。						

質問、相談への対応	メールにて対応します。 isobe@shinshu-u.ac.jp
教科書	使用しない。 教場にてプリントを配布する。
参考書	教場にて指示する。